

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成20年6月26日 (2008.6.26)

【公表番号】特表2008-509677(P2008-509677A)

【公表日】平成20年4月3日 (2008.4.3)

【年通号数】公開・登録公報2008-013

【出願番号】特願2007-525861(P2007-525861)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 1 2 N 1/21 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 1 2 N 1/21

【手続補正書】

【提出日】平成20年4月7日 (2008.4.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 4 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 4 7】

脾臓由来の T 細胞及び腫瘍浸潤 T 細胞は、標準的な手順に従って、C D 8 及び C D 4 表面マーカー並びに E 7 特異性について分析される (Gunn et al., 2001, J. Immunol, 167: 6471-6479)。C 5 7 B L / 6 マウスは、腫瘍が L m d d - T V 3 又は L m - L L O E 7 と共に埋め込まれた 7 日後及び 1 4 日後に、腹膜内に免疫接種される。脾細胞及び腫瘍は、2 回目の注射の 5 日後に採取され、1 : 2 0 0 に希釈された、E 7 ペプチド (R A H Y N I V T F, SEQ ID NO:26) 又は対照ペプチド (H I V - G a g) がロードされた H - 2 D<sup>b</sup> 四量体によって室温で染色される。四量体は、国立アレルギー感染症研究所 (米国) の四量体コア施設 (Tetramer Core Facility)、及び国立衛生研究所 (米国) のエイズ研究部門 (AIDS Research and Reference Reagent Program) から提供される。